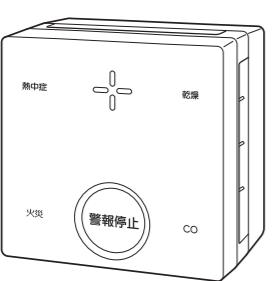


## 取扱説明書 [保証書付]

型式名 SC-735

PLUSCO + 快適ウォッチ<sup>®</sup>

このたびは、一酸化炭素検知機能付き火災警報器(以下、警報器という)をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みいただき、正しくお使いください。  
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

**CO反応式とは?**  
総務大臣により制定された特例基準に基づいた住宅用火災警報器です。  
(特) =光電式住宅用防災警報器(CO反応式)特例基準マーク

火災警報器が一酸化炭素(CO)を約100ppm検知した場合、煙感度を通常設定より約2倍に高める機能です。

## 警報器の機能について

- 火災による煙を感じて音声で警報を発する機能や、住宅で発生する一酸化炭素(以下COという)を検知して音声で警報を発する機能を持っていますが、火災の発生や住宅におけるCOの発生を未然に防止する装置ではありません。
- 火災やCOの発生などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 換気扇などによる煙が吸引され、煙が一定濃度以上にならないときは、火災警報機能が働きません。
- CO検知部にCOが到達しないときは、CO注意報機能が働きません。
- 警報器を取り付けない部屋は、火災の監視ができません。また、取扱場所近くでのCOには注意報を発しますが、他の部屋で発したCOには注意報を発しないことがあります。
- 消防法で定めた住宅用防災警報器として設置できます。
- 消防法に規定された「自動火災警報設備」には代用できません。
- 熱中症おしさせは、警報器周囲の環境条件から熱中症注意の目安を示し体調管理などにお役立ていただくもので、熱中症を防止できるものではありません。
- 乾燥おしさせは、警報器周囲の環境条件から空気の乾燥をお知らせし健康管理などにお役立ていただくもので、乾燥によるインフルエンザなどを防止できるものではありません。

新コスモス電機株式会社

〒532-0036 大阪市淀川区三津屋中2-5-4



お問い合わせ先	新コスモス電機(株)サポートセンター	電話受付時間
	0120-621-250 または 03-6625-7056	9:00~17:00 平日のみ ※当社指定休業日を除く

## 1. 安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みいただき、お客様や他の人々への危害や損害を未然に防止するために、必ずお守りください。  
注意事項は、誤った取り扱いによる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

**△危険** 誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定される」内容を示します。

**△警告** 誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。

**△注意** 誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。

絵表示の内容

「一般的な禁止」事項を示しています。

「分解禁止」事項を示しています。

「水ぬれ禁止」事項を示しています。

「必ず行う」事項を示しています。

## △危険

火災警報音が鳴ったら、以下の内容を必ず守ってください。

- 火元を確認し、119番へ通報するなどの適切な処置をしてください。  
必ず行う
- 消火が不可能なときは、避難してください。  
必ず行う

CO注意音が鳴ったら、以下の内容を必ず守ってください。  
CO濃度が上昇し、短時間で生命が危険な状態になるおそれがあります。

- 注意音が鳴っている部屋にいるときは、すぐに換気をしてください。  
※原因が特定できない場合は避難してください。
- 部屋の外にいるときは、すぐに入室しないでください。  
禁止

## △警告

- 分解や改造はしないでください。  
故障の原因となります。
- 分解禁止

- 衝撃を与えないでください。  
故障の原因となります。
- 禁止

警報器の取り付け、取り外し、定期点検、異常時の点検・処置などを行うときは、安全した踏み台を使い、十分注意してください。  
転落・転倒・落下によるケガのおそれがあります。

定期的に(1ヶ月に1回程度)警報停止スイッチを操作して、警報器が正常に動作するか点検をしてください。また、1週間以上留守にされたときは、警報器が正常に動作するか点検をしてください。

ライターの炎やタバコの煙などを使って、点検を行わないでください。  
火災や故障の原因となります。

禁止

警報器の前に物を置いたり、取り付けたりしないでください。  
火災警報やCO注意報の遅れの原因となります。

取扱ねじ1本で壁面に取り付けられている場合は、引きひもを使用しないでください。  
警報器が落下するおそれがあります。

警報器に耳を近づけて、警報音を聞かないでください。  
聴力障害などの原因になるおそれがあります。

禁止

設置後、10年(交換期限)を過ぎた警報器は、新しい警報器とお取り替えください。  
正常に動作しないおそれがあります。

必ず行う

警報器を水につけたり、水をかけたりしないでください。  
故障の原因となります。

水ぬれ禁止

引きひもを引いて火災警報音を停止するとき、および定期点検をするときは、強く引いたり、ぶら下がったりしないでください。  
警報器の落下や、ひも切れまたはひもが外れるおそれがあります。

禁止

引ひもを引いて火災警報音を停止するとき、および定期点検をするときは、強く引いたり、ぶら下がったりしないでください。  
警報器の落下や、ひも切れまたはひもが外れるおそれがあります。

## 2. 各部のなまえとはたらき

- スピーカー  
火災警報音やCO注意報音が鳴ります。
- 青(乾燥)LED  
動作の詳細は「3.熱中症／乾燥おしさせ機能」を参照ください。
- 橙(熱中症)LED  
動作の詳細は「3.熱中症／乾燥おしさせ機能」を参照ください。
- 赤(火災警報)LED  
火災警報時に点滅します。
- 警報停止スイッチ  
警報停止スイッチを操作すると\*と火災警報音を停止させたり、定期点検を行なうことができます。  
★ 警報停止スイッチを押すことはまた、引きひもを引いて操作することをいいます。
- 煙感知部  
煙を感じます。  
火災などにより、警報器周囲の煙が一定濃度以上になると、それを感知して火災警報を発します。

- CO検知部  
COを検知します。  
警報器周囲のCOが規定濃度以上になるとCO注意報を発します。
- 引きひも取付部  
引きひもを取り付けることで、警報停止スイッチと同じ操作ができます。  
引きひもは付属されていませんので、お客様の引きひもをご購入ください。

## △危険

## △注意

引きひもを取り付けるとき、取付部が引かれて警報音が鳴ることがありますので、注意してください。

推奨ひも 市販の照明用スイッチひもなど  
(太さφ0.7~1.0mm程度)

- 引きひもを本体を取り付ける前に、先端を仲間に結びます。



- 結び目を引きひも取付部に引っ掛け<sup>①</sup>、引きひもを溝に通す<sup>②</sup>。



■LEDのつかたについて  
取扱説明書中のLEDの点滅は次のように動作します。

点滅	1秒おきに1回点滅	1秒	点滅周期
電池切れ	10秒おきに1回点滅	10秒	点滅周期
故障点滅	10秒おきに3回点滅	10秒	点滅周期

## 3. 商品のご確認

梱包部品の種類と個数を確認してください。

警報器本体…1個	取付ベース…1個 (本体に取り付けられています。)	取付ねじ…2本
石膏ボードビン…5本(予備:1本)	石膏ボード用 仮止めビン…1個	
スタートガイド…1冊	専用リチウム 電池…1個	
取扱説明書(保証書付)…1冊		

## 4. 警報器の取り付け

## 4-1 取り付ける前に

## 警報器本体から取付ベースを取り外す

本体を持ち、取付ベースを手のひらで押しながら、左(反時計回り)に回して、取付ベースを外してください。



## おねがい

取付ベースを引っ張りながら回さないでください。

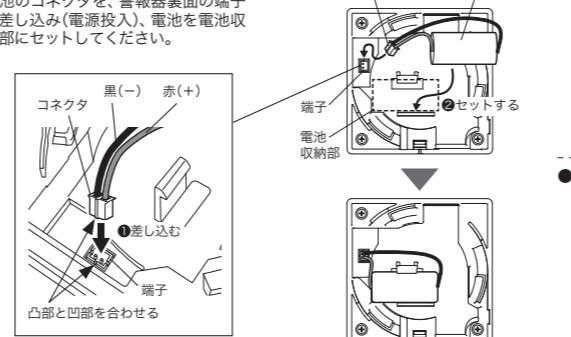
取り付け時の本体落下防止の安全ロック機構が働くため、取付ベースは外れません。

## 電源を入れる

## △注意

- コネクタの接続にドライバーなどを使用しないでください。  
コネクタが破損したり、専用リチウム電池がショートする原因になります。
- リード線の赤(+)&黒(-)の向きを間違えないように、確実に差し込んでください。
- 専用リチウム電池の外装フィルムは電池を保護するものです。はがさないでください。

- 電池のコネクタを、警報器裏面の端子に差し込み(電源投入)、電池を電池収納部にセットしてください。



②「ピッ」と鳴り、約30秒間、黄(CO注意報)LEDが点滅した後、全てのLEDが点灯してから消し、「警報器正常です」とお知らせします。



## 警報器本体への設置年月の記入



## 4-2 取り位置の確認

## おねがい

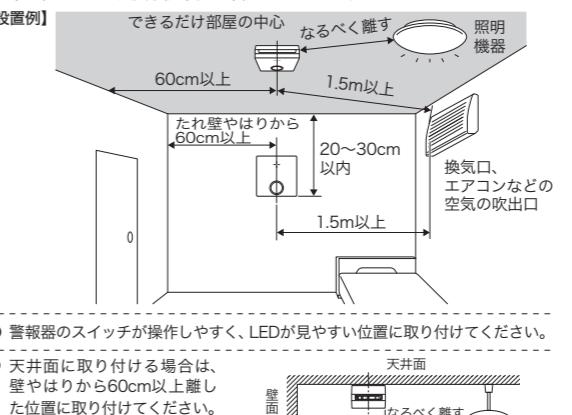
直射日光が当たる窓の近くや、熱がこもる場所に設置すると、熱中症おしさせが鳴りやすくなることがあるので注意ください。

## △注意

正しい取付位置に取り付けてください。  
取り付けてはいけない場所に取り付けると、火災警報およびCO注意報の遅れ、誤作動、故障の原因となります。  
本警報器はガス機器の設置基準及び実務指針に記載されているガス警報器の設置場所には設置できません。

## 正しい取付場所について

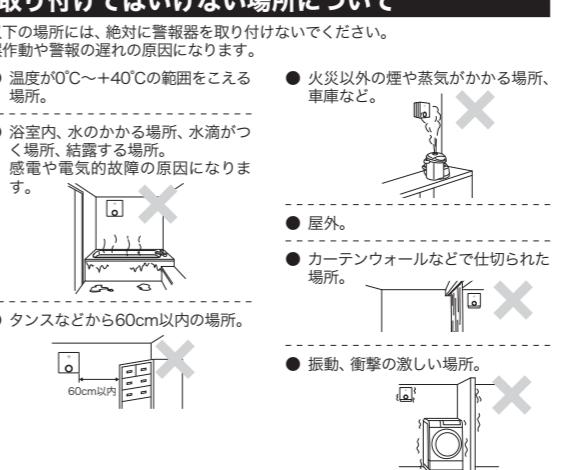
\* 設置および維持基準については、政省令で定める基準に従い、市町村条例で定められています。各市町村によって設置場所が異なる場合がありますので、各市町村が定める火災予防条例を確認してください。



## 取り付けてはいけない場所について

以下の場所には、絶対に警報器を取り付けないでください。

誤作動や警報の遅れの原因になります。



## 4-3 取り付けかた

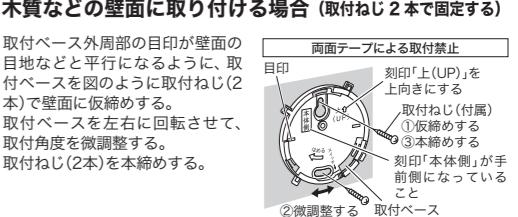
## △注意

- 取付位置の材質・強度を確認し、土壁や強度の弱い合板には取り付けないでください。
- 取付強度を保持するため、石膏ボードビンは根元まで差し込んでください。万一、ビンがゆるんだ場合は、取付位置をずらしてビンを付け直してください。

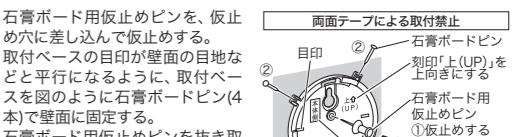
## おねがい

石膏ボードに取付ねじで取り付ける場合、必要に応じて市販の石膏ボード用アンカー(Φ3.5mm木ねじ用)を使用してください。

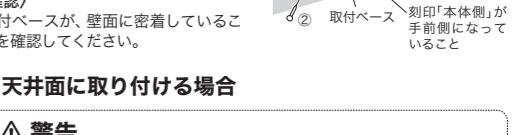
## 取付ベースの取り付け



## 木質などの壁面に取り付ける場合(取付ねじ2本で固定する)



## 石膏ボードの壁面に取り付ける場合



## 警報器の取り付けかた

- ① 取付ベース外周部の目印が壁面の目地などと平行になるように、取付ベースを図のように取付ねじ(2本)で壁面に仮締めする。
- ② 取付ベースを左右に回転させて、取付角度を微調整する。
- ③ 取付ねじ(2本)を本締めする。



## おねがい

- 引きひもを使用する場合はP3「

## ■木質などの壁面に壁掛け取り付ける場合

(取付ねじ1本に引っ掛け取り付ける)

### △警告

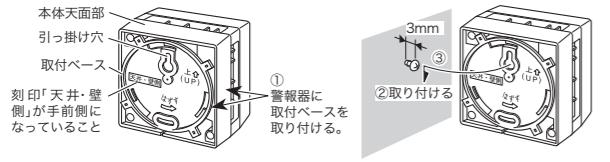
木質などの壁面に壁掛け取り付け(取付ねじ1本に引っ掛け取り付ける)する場合は、引きひもは使用しないでください。  
引きひもを強く引くと、本体の落下により、お客様がケガをするおそれがあります。

① 取付ベースの刻印「スイッチ」と警報器のスイッチの位置を合わせながら、取付ベースの引っ掛け部の手前に警報器裏面の突起(3箇所)を合わせて、取付ベースを回して取り付ける。

② 取付ねじ(付属)を壁面から3 mm出るように取り付ける。  
※ねじを完全に締め付けた状態から1回転半戻すと、約2~3 mmになります。ねじが出てきたら、引っ掛けたときに取付ベースの裏面が破損するおそれがあります。

③ 本体の引っ掛け穴部分を取り付ねじに引っ掛けます。

④ 本体が確実に引っ掛かっていることを確認する。

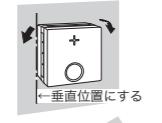


### 警報器の取付角度の微調整

警報器の取付角度は、以下の手順で微調整できます。

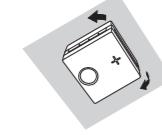
### ■壁面に取り付いている場合

警報器が垂直になるように、少し左右に回して、角度を微調整する。



### ■天井面に取り付いている場合

警報器が天井面の目地などと平行または垂直になるように、少し左右に回して、角度を微調整する。



### 4-4 動作確認のしかた

### △警告

ライターの炎やタバコの煙などを使って、点検を行わないでください。  
火災や故障の原因となります。

① 警報器が警報動作中や警報音停止中ではないことを確認する。

② 警報停止スイッチを約1秒間押す。  
「ピッ」と鳴り、すべてのLEDが点灯してから消灯し、「警報器正常です」と鳴ると正常です。

※以下の異常等がないかを確認できます。  
・煙感知部の異常  
・CO検知部の異常  
・電源異常

### 5. 警報音・注意報音が鳴ったときの処置のしかた

## 1 「ウーウーカンカンカン 火事です 火事です」と鳴ったときの処置のしかた

【赤(火災警報)LEDが点滅】または

【赤(火災警報)LEDが点滅と黄(CO注意報)LEDが点滅】

### △危険

火災が不可能なときは、避難してください。



火元を確認し、119番へ通報するなどの適切な処置をしてください。

初期消火



119番への通報



警報器周囲の煙が一定濃度以下になると、警報音が止まり、LEDが消灯します。

### △お問い合わせ

火災以外の煙などで火災警報を発している場合でも、黄(CO注意報)LEDの点滅の有無を確認してください。  
※火災警報を発している場合は、音声は火災警報が優先されるため、音声によるCO注意報は発しません。

## 2 「ウーウーピッポッピッポッ」と鳴ったときの処置のしかた

【黄(CO注意報)LEDが点滅】

・ 部屋の外にいるときは、すぐに入室をしないで、外からドアや窓を開けて換気してください。  
・ 燃焼器具を使用している場合は、使用を中止し、ドアや窓を開けて換気してください。  
・ 原因が特定できない場合は、避難してください。  
※ COがなくなれば、CO注意報音が停止します。

## 3 火災やCO以外で火災警報音やCO注意報音が鳴ったときの処置のしかた

### (火災警報音やCO注意報音を止めたいとき)

火災警報音は警報停止スイッチを操作してください。警報音を停止させることができます。  
※ CO注意報音は警報停止スイッチで注意報音を停止することはできません。

### 1 ドアや窓を開け、しばらく換気を続ける。



### 2 火災警報音の場合は警報器周囲の煙が一定濃度以下になると、警報音は停止します。

CO注意報音の場合は空気がきれいになると注意報音は停止します。

以下の原因が考えられますので、調べてください。

〈火災警報・CO注意報共通〉

- スプレー式殺虫剤やアスプレーなどを、警報器にかけていませんか。
- タバコの煙を警報器に吹きかけていませんか。
- 線香の煙が警報器にかかっていませんか。
- シンナー、ベンジンなどの溶剤を大量に使用していませんか。
- アルコール類やくん煙式、くん蒸式の殺虫剤が直接かかっていませんか。
- 自動車の排気ガスが室内にこもっていますか。

〈火災警報〉

- 湯気が直接かかっていませんか。
- 調理の煙や水蒸気などが警報器にかかっていませんか。
- 砂、ホコリ、虫などが警報器の煙感知部に侵入していませんか。

### 噴霧式殺虫剤を使用するときのご注意

#### △注意

- 警報器を取り付けていたる部屋で殺虫剤(くん煙式、加熱蒸散式なども含む)を使用すると警報器が鳴動する場合があるため、本体を取り外し殺虫剤がかかる場所に一時退避してください。
- 噴霧が終わったら、換気後、必ず元の位置に戻してください。

### 6. その他のお知らせ機能について

#### 電池切れお知らせ機能

電池切れが近づくと、「ピッ 電池切れです」と鳴り、赤(火災警報)LEDが電池切れ点滅します。その後、約50秒ごとに「ピッ」でお知らせします。  
そのとき、警報停止スイッチを約1秒操作すると、「ピッ 電池切れです」とお知らせします。  
※ 音声停止中に警報停止スイッチを操作すると、「ピッ 電池切れです」とお知らせします。  
※ 「ピッ」音は夜間でも動作しますのでご了承ください。

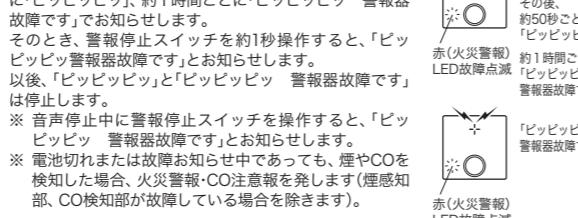
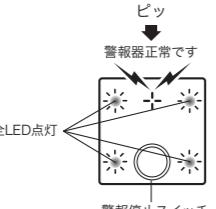
#### 故障お知らせ機能

故障していると、「ビッビッピッ 警報器故障です」と鳴り、赤(火災警報)LEDが故障点滅します。その後、約50秒ごとに「ビッビッピッ」約1時間ごとに「ビッビッピッ 警報器故障です」までお知らせします。  
その後、「ピッ」と鳴ります。  
※ 警報停止スイッチを約1秒操作すると、「ピッ 譲報器故障です」とお知らせします。  
※ 「ピッ」音は夜間でも動作しますのでご了承ください。

#### 故障診断機能・自動試験機能

センサを含めた内部回路が正常であることを一定間隔で監視し、故障した場合、自動的に検知し、お知らせします。

※ 故障診断機能・自動試験機能では、すべての故障は検知できません。

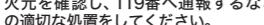


※ 譲報停止スイッチを約1秒操作することで、交換期限を過ぎていますとお知らせします。

初期消火



119番への通報

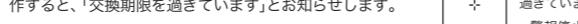


火元を確認し、119番へ通報するなどの適切な処置をしてください。

初期消火



119番への通報

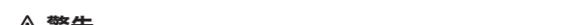


火元を確認し、119番へ通報するなどの適切な処置をしてください。

初期消火

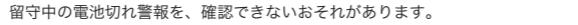


119番への通報

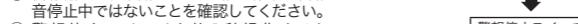


火元を確認し、119番へ通報するなどの適切な処置をしてください。

初期消火

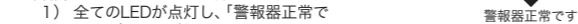


119番への通報

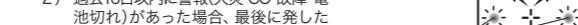


火元を確認し、119番へ通報するなどの適切な処置をしてください。

初期消火

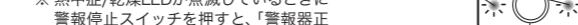


119番への通報



火元を確認し、119番へ通報するなどの適切な処置をしてください。

初期消火



119番への通報



火元を確認し、119番へ通報するなどの適切な処置をしてください。

初期消火



119番への通報



火元を確認し、119番へ通報するなどの適切な処置をしてください。

初期消火



119番への通報

